

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成17年7月28日(2005.7.28)

【公開番号】特開2003-238646(P2003-238646A)

【公開日】平成15年8月27日(2003.8.27)

【出願番号】特願2002-39967(P2002-39967)

【国際特許分類第7版】

C 0 8 G 18/62

C 0 8 L 75/04

C 0 8 L 101/02

C 0 9 D 5/00

C 0 9 D 175/04

C 0 9 J 175/04

【F I】

C 0 8 G 18/62

C 0 8 L 75/04

C 0 8 L 101/02

C 0 9 D 5/00

Z

C 0 9 D 175/04

C 0 9 J 175/04

【手続補正書】

【提出日】平成16年12月16日(2004.12.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ポリイソシアネート(A)と、

ノニオン性基を含有するビニル系重合体(B)及びイソシアネート基と反応し得る活性水素含有基を有する化合物(C)の混合物とを、

混合し反応させることを特徴とする、水分散性ポリイソシアネート組成物の製造方法。

【請求項2】

イソシアネート基と反応し得る活性水素含有基を有する化合物(C)を主成分とする有機溶剤中において、ノニオン性基を含有するビニル系单量体を含むビニル系单量体混合物を重合させ、得られたノニオン性基を含有するビニル系重合体(B)を含む溶液とポリイソシアネート(A)とを混合し反応させることを特徴とする、水分散性ポリイソシアネート組成物の製造方法。

【請求項3】

ポリイソシアネート(A)とビニル系重合体(B)の比率が重量比で(A)/(B)=30~95/70~5である、請求項1又は2に記載の水分散性ポリイソシアネート組成物の製造方法。

【請求項4】

ビニル系重合体(B)と化合物(C)との混合物におけるそれぞれの組成比が、重量換算で(B)/(C)=10/(1~10)の範囲である、請求項1に記載の水分散ポリイソシアネートの製造方法。

【請求項5】

ポリイソシアネート( A )と混合する前のノニオン性基を含有するビニル系重合体( B )を含む溶液における、ビニル系重合体( B )と化合物( C )の組成比が、重量換算で( B ) / ( C ) = 10 / (1~10) の範囲である、請求項2に記載の水分散ポリイソシアネートの製造方法。

【請求項6】

前記ビニル系重合体( B )が、総炭素原子数が4以上である疎水性基を含有するものである、請求項1又は2に記載の水分散性ポリイソシアネート組成物の製造方法。

【請求項7】

前記ビニル系重合体( B )が、活性水素含有基を含有するものである、請求項1又は2に記載の水分散性ポリイソシアネート組成物の製造方法。

【請求項8】

活性水素含有基が、水酸基、カルボキシル基、アミノ基、及び活性メチレン基よりなる群から選ばれる少なくとも1種の基である、請求項6に記載の水分散性ポリイソシアネート組成物の製造方法。

【請求項9】

前記ビニル系重合体( B )のノニオン性基が、末端がアルコキシ基で封鎖されたポリオキシエチレン基である、請求項1又は2に記載の水分散性ポリイソシアネート組成物の製造方法。

【請求項10】

前記化合物( C )の活性水素含有基が、水酸基、カルボキシル基、アミノ基、及び活性メチレン基よりなる群から選ばれる少なくとも1種の基である、請求項1又は2に記載の水分散性ポリイソシアネート組成物の製造方法。

【請求項11】

活性水素含有基を有する水性樹脂( D )と請求項1~10いずれかに記載の製造方法により得られる水分散性ポリイソシアネート組成物を含んでなる水性硬化性組成物。

【請求項12】

請求項1~10いずれかに記載の製造方法により得られる水分散性ポリイソシアネート組成物と水を含んでなる水性硬化性組成物。